



# 異性を求める

若い頃は、勉強をしていますが、

仕事をしていても、

異性のことが頭から離れないものだ。

男性は雄の孔雀のように、

美しい尾をいっぱい、いっばいに広げて、

異性の気を引こうとする。

高学歴、高収入、高身長が、

「3K」と呼ばれた時代もあった。

高度成長時代には、勤めている会社の名前で相手を釣ることもできた。

女性も容姿や人柄、家柄がモノを言った。

一流会社にコネを使って入りたがるのも、

エリートをゲットする目的であった。

今は男女それぞれに自己実現を目指し、

時にはライバルになることも多くなった。

そんな時代を背景に「LGBTQ」なるものも、

なし崩し的に、

左翼リベラル人権派から、

保守派にまで浸透してきた。

環境左翼と、

性的なりべラル派が、

平行して進んでいるようにも思える。

創造主の意思や、

霊界の存在も忘れ果てたのだろう。

男性は、仕事ができ、責任感のある男が、

自然に選ばれ、

女性は優しい心を持って、慎ましやかな方が、

好まれた時代がなつかしい。

異性を求めることが、自分を高めることと同義であった時代を、

時には想い起こせ。

